

F17 サンアントン・ノーブル・バル ST Antonin Novle Val (フランス)

かつての世界チャンピオンであるアメリカのロビン・アーベスフィールドとフランス デディエラデーウが結婚して移り住んでいる街が、このサンアントンだ。

岩場は、サンアントンから南にAveyron という川沿い110 キロ程度に連なっている。

コルネやエッジなどエリアによって特徴があり、岩場のバリエーションと岩質には目を見張るものがある。またひとつのエリアに多くのグレードが点在しているのも特徴だ。

世界中の岩場を登った彼らが、世界で最高の岩場というだけあり、一度は行ってみる価値はある。

最近は大冒険と言うカテゴリーの中を言うような、ドゥベリエリアも開拓中のようなのである。

岩質

石灰岩

ルート

エリアは大きく10箇所ほど、たいていの岩場はエリアはたくさんあっても、使える岩場は1-2箇所というのが多いが、ここはどのエリアもかなり内容が濃い。また岩場の向きが東西南北と場所によって異なるので、シーズンによってエリアを選ぶこととなる。グレードはフランスの中ではかなり辛目。またルートの当たり外れがあるので、できれば岩場で地元クライマーに登りたいグレードのお勧めルートを聞いておくとよい。

Anglars

サンアントンの街の南正面に見える、高さ50m、幅1キロほどのエリア。北面のため、夏を中心とした暑い時期のエリア。ルート数は200本ほど、傾斜はスラブから薄かぶり、エッジが発達しているため、小川山のようなクライミングが楽しめる。7b以上は大きく破っているルートもある。7以上のグレードのルートはほとんどが60m ロープでないと降りてこれない長さである。また高難度は1本目のボルトがやたらと遠いルートがあり（長い木でも届かないほど遠い）さらに落ちたら怪我をするような高さで5.11位のムーブをこなさないと行けないものも少なくない。1本目が近いルートはたいてい終了点下が大きくランナウトしており、どちらかて精神的にしめられる。

アプローチは岩場の上の道路から歩いて3分ほどで、岩場の端に付く。ここから各ルートへは広い岩棚をトラバースして歩いていく。地元の子供たちが毎日のように登りに来ている。

Capucin

Anglars からD115を2キロほど南下したところにある高さ150メートルほどの巨大な岩峰。オレンジ色の美しい岩峰には、やはり200本近いルートがある。ルートはこの150m程の岩の、下部と上部にわかれて拓かれている。真中に大きなピントがあり、上部の岩場へは別のアプローチで行くこととなる（アプローチ下部エリア10分、上部エリア20分）私は下部エリアのみしか行ってないので、以下は下部エリアの情報。傾斜は日本の二子山程度、15-20mほどのところにピントがあり、多くのルートはここまでのショートルートになっている。（100本ほどある）上部まで抜ける3ピッチのルートもかなりある。グレードはほとんどが7台で、私はシーズンでない時期に行ったのでチョークもついておらず、どのルートもかなり難しく感じた。ボルトは近めでランナウトしているルートはなかった。日当たりの良いので寒い時期のエリアである。

Manjo-Carn Super Manjoc

20本ほどあるルートはほとんどが8台で、8cまである。デディエもお勧めのエリア。傾斜は120 - 130°の前傾で長さも20m以

上ある。5.13 を登りたい人はこのエリアになるだろう。ただし西南面のため午後早い時間からから日向となし。夏季は攻める時間が少なく不向き。Manjo-Carn はここ以外にも岩がずーとつながっており、初心者向きのエリアや、北面の7-8 台が70 本以上あるセクターもあるが、行ってないので詳細は不明。アプローチは5 分ほど。

La Croix Secteur classique

地元のクライマーお勧めだったが、垂直以下のドスラブであった。6 台はどれもまあまあ面白いが、7 台になると極限のフリクションスラブである。右の回りこんだSecteur colonnes は見た目はまあまあ面白そうだが、登ってないので不明。午後から日向。アプローチ5 分。

宿泊

サンアントンの街にはキャンプ場がいくつかある。ホテルは3 件あるが、どれもあまり快適とはいえない。我々はオフィストゥーリズムで紹介されたアパートで1 週間暮らしたが、非常に快適であった。(1 週間3 万円)

シーズン

1 年中可能。私は8 月にいったが、晴れた日は北面のAnglars やなどのエリア、曇りや雨の日はCapucin で登っていた。ただし暑い日は40 ° 近くまで上がり、日陰とはいえかなり暑かった。真冬は少し厳しいかもしれないがCapucin が1 日日当たりが良いので、冬のエリアらしい。

ショッピング、トボ

サンアントンの街にあるスーパー(シヨビ、場所わかりにくい)で必要なものは手に入る。クライミングギアはない。トボはオフィストゥーリズムで販売している。

アプローチ

ツーローズからのアプローチを説明する。高速 A62 でMontauban を目指し、途中からA20 に入る。20 キロほどで59 番の出口ででて、D926,D5 を経てサンアントンへ。ツーローズから1 時間ほど。各岩場へはトボを参照のこと。どの岩場もアプローチは迷うことはないくらい明瞭で分かりやすい。

レスト

30 分ほど離れた Cordes の町は、岩の上に町がある変わった場所で、多くの観光客で賑わっている。さらに30 分ほど行ったAlbi の町にあるサントセシル大聖堂は一見の価値あり。

サンアントンの町ではカヌーができる。

またロビンとディエのクライミングジムがサンアントンからD5 を5 キロほど戻った場所にある。サンアントンからグネグネの登りを抜け、一直線の道になってからしばらく行くと、右側に馬の絵の入った乗馬場の小さな看板が出ている。(かなり注意しないと見過ごす)これを目印に右折し、さらに300m ほど進むと同じ看板が出ているので左折する。するとジムがある。ちなみにクライミングジムの看板は一切出ない。ジムといっても商売というより二人のトレーニング場という感じ。ボルダーのみだがかなり広い。私は2 回行ったが2 回とも閉まっていた。

ちなみにディエは岩場で子供にクライミングを教えていた。(太っていて最初わからなかった)ディエの話によるとロビンは2 人目の子供が生まれて、おかあさんとなっているそうだ。